

お知らせ

記者発表資料 令和 5年 5月19日

■同時発表先：中国地方建設記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、岡山市政記者クラブ

水害に備えて！吉井川総合水防演習を開催します！

～洪水から守ろう みんなの地域 備えよう みんなで防災 吉井川～

本格的な雨のシーズンを前に吉井川流域において、台風の接近と前線の影響により水害や土砂災害が発生するという想定のもと、平成30年西日本豪雨など、近年の被災経験を活かし、中国地方整備局、岡山県、吉井川流域の13市町村及び消防団、地域住民など多くの機関、組織が連携し、情報伝達訓練、水防工法訓練、避難訓練等を以下の日程で実施します。

◎日時：令和5年5月27日（土）9時00分演習開始

◎場所：岡山県和気郡和気町原地先 おかやまけんわ けくんわけちようはら 吉井川右岸河川敷（和気橋下流） よしいがわ

◎訓練概要：別紙－1のとおり

<報道機関の皆様へ>

・取材される場合は、別紙－2の取材申込書を令和5年5月25日（木）までに岡山河川事務所まで提出をお願いします。

・取材の際には、報道機関とわかるように腕章等を装着し、受付にお越し下さい。

※雨天決行ですが、洪水等により参加機関が防災体制をとる必要が生じた場合は演習を中止する場合があります。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 河川部 水災害対策センター
082-221-9231（代表）
岡山河川事務所
086-223-5101（代表）

【担当】

水災害対策センター長	<small>さいとう かずまさ</small> 齊藤 一正（内線3881）
建設専門官	<small>やました あつし</small> 山下 篤志（内線3882）
総括保全対策官（岡山河川事務所）	<small>すえなが あつし</small> 末永 敦（内線308）

みす
洪水から守ろうみんなの地域

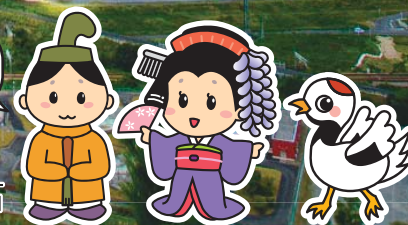


©岡山県マスコット
「ももっち・うらっちと仲間たち」



和気町で
開催するまろ!

©和気町PRキャラクター
「わけまるくん」「ふじちゃん」「タンタン」



吉井川総合水防演習

災害発生時の活動を訓練!
水防工法の体験・災害時に役立つ情報が学べる!
災害時に活躍するヘリコプター・車両・
特殊ドローンが大集合!ぜひ、ご来場ください。
YouTubeライブでもご覧になれます!

備えよう みんなで防災 吉井川

当日、演習状況をYouTubeでLIVE配信します。

中国地方整備局 youtube

検索

こちらの二次元コードから
LIVEをご覧ください▶



令和5年 **入場無料** **見学自由**

サテライト
会場

令和5年5月27日(土) 10時~13時

岡山一番街 ハレチカ広場(岡山一番街 地下1F)
吉井川総合水防演習ライブ配信 防災パネル展示他

5月27日 土

9:00~12:00 **雨天決行**
(ただし洪水時は中止)

会場

岡山県和気郡和気町原地先 吉井川右岸河川敷(和気橋下流)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって開催方法を見直す可能性があります。
最新の状況を岡山河川事務所WEBサイトよりご確認ください。



水防
シンボルマーク



吉井川
シンボルマーク



※演習(本番5月27日・リハーサル5月20日)時は堤防道路が
車両通行止めとなりますので、通り抜けできません。

主催 国土交通省中国地方整備局、岡山県、和気町、岡山市、津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町

協賛 全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(一財)河川情報センター、(一社)中国建設弘済会 後援 (一社)建設広報協会

お問い合わせ 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 TEL.086-223-5101



吉井川総合水防演習に伴い、下記の時間帯前後に交通渋滞およびヘリコプターによる騒音が発生します。演習会場周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

会場：岡山県和気郡和気町原地先 吉井川右岸河川敷（和気橋下流）

日時：5月27日（土）9：00～12：00（本番） 5月20日（土）9：00～12：00（リハーサル）

5月27日（土）演習内容

※時間は目安です。進行状況により前後いたします。

《9：00》
開会式

主な演習項目

前半（9：30～10：30）

▼大雨洪水警報・氾濫注意水位～避難判断水位

- 消防団の出動～水防工法着手
- 「高齢者等避難」発表
- 要配慮者利用施設避難
- 排水ポンプ車による内水排除

▼土砂災害警戒情報・氾濫危険水位

- 「避難指示」発表
- メディアを通じた河川情報発信（NHK、レディオモモ）
- 住民避難
- ホットライン※

ホットラインとは、国土交通省の事務所長及び気象台の台長より、河川水位・気象状況などの最新の情報を市町村長へ直接伝達し、市町村長が避難指示等の発令をする際の意思決定に役立ててもらうものです。

▼大雨特別警報・緊急安全確保

- 「緊急安全確保」発表

後半（10：30～11：30）

▼氾濫発生

- 被災状況調査（国土交通省）
- 捜索活動（海上保安庁）
- 被災状況調査（中国四国管区警察局、岡山県警）
- 自衛隊派遣、救命・救援ルートの確保（陸上自衛隊）
- ライフラインの復旧（中国電力ネットワーク）
- 特定緊急水防活動（国土交通省）
- 地上救出訓練（岡山県警・東備消防組合）
- 道路啓開（国土交通省、JAF）
- 航路啓開（国土交通省）
- 上空からの救助活動（岡山県消防防災航空センター）

《12：00》
閉会式

吉井川総合水防演習 3つの柱

水防とは？ 洪水などが起きたときに、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で被害を最小限に食い止めるために行う活動を『水防活動』といいます。

水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図る

実態に即した水防工法訓練の実施

- 大雨で吉井川の水位が急上昇しているという想定のもと、実際の水防活動と同様に、各工法を完成させるまで一連の訓練を実施します。
- 堤防の決壊を防ぐため、各市町村の消防団などが適切な水防活動を次々に実施していきます。



幅広い主体の参加により地域社会全体の防災意識の向上を図る

洪水時の情報収集や避難、水防工法訓練など、間近で見ると知る・体験

- 大規模水害時や土砂災害時に連携する機関の取り組みを含めた演習とします。
- ご来場の皆様も土のう作りを実際に体験できる『水防工法体験』のコーナーを用意しています。ぜひご参加ください。



実践的なシナリオにより災害対処能力の更なる向上を図る

住民避難の課題を踏まえ、防災機関と連携した実践的な訓練

- 実際の避難行動につながるよう、ハザードマップの活用も含めた実効性ある避難想定で実施します。
- 消防、警察、自衛隊、海上保安庁などの機関がヘリコプターや専用車両を駆使して、孤立者救助訓練等を実施します。



注意事項

- 演習会場周辺には大型車両が行き来して危険な場所もあります。係員の指示に従いご見学ください。お子様連れの方は特にお気を付けてください。
- 「水防工法体験」に参加を希望される方は、動きやすく汚れてもよい服装で早めにご来場いただき、「会場受付」でお申し込みください。申し込み受付時間：9：00～10：00
- 訓練内容については変更になる場合があります。予めご了承ください。
- ご来場いただく皆様には、手指消毒・マスク着用・検温等、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

展示コーナー

展示コーナーでは災害時に活躍する車両や防災に関するパネル展示などを行います。

参加機関 国土交通省中国地方整備局、岡山県、和気町、岡山市、津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、気象庁岡山地方気象台、海上保安庁第六管区海上保安本部、海上保安庁広島航空基地、玉野海上保安部、防衛省陸上自衛隊第13旅団、防衛省陸上自衛隊13特科隊、防衛省陸上自衛隊第305施設隊、日本赤十字社岡山県支部、警察庁中国四国管区警察局岡山県情報通信部、岡山県警察本部、岡山県備前警察署、岡山県消防防災航空センター、東備消防組合消防本部、国土地理院中国地方測量部、日本放送協会岡山放送局、株式会社岡山シティエフエム、西日本電信電話株式会社岡山支店、中国電力ネットワーク株式会社岡山ネットワークセンター、中国電力株式会社岡山支社、IPU・環太平洋大学、災害応対策協力会、一般社団法人中国建設弘済会（防災技術支援者）、一般社団法人岡山県建設業協会、一般社団法人日本自動車連盟岡山支部、地元自治会、地元小学校、和気町消防団、岡山市消防団、津山市消防団、備前市消防団、瀬戸内市消防団、赤磐市消防団、美作市消防団、鏡野町消防団、勝央町消防団、奈義町消防団、西粟倉村消防団、久米南町消防団、美咲町消防団

いざ！というときのために、水害への備えをしましょう。

令和5年度 吉井川総合水防演習概要

1. 目 的

洪水や高潮による大規模水害の発生を未然に防止又は軽減するためには、関係機関との密接な連携のもとに迅速かつ円滑な水防工法を行う必要があります。

このため、吉井川における洪水を想定し、国土交通省、岡山県、水防管理団体をはじめとする関係機関及び地域住民の参加のもと、情報伝達、水防工法、人命救助、避難訓練等、実態に即した水防演習を行うことにより、水防団の士気高揚を図り、水防工法技術錬磨に努めます。また、今後、施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが予想されているところであります。

そこで、水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、「流域治水」の観点を踏まえ、幅広い主体が参加する実践的な訓練により、地域社会全体における防災知識の普及、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を目的とした吉井川総合水防演習を実施します。なお、新型コロナウイルス感染防止対策を厳とし実施します。

2. 主 催

国土交通省中国地方整備局、岡山県、和気町、岡山市、津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町

3. 参加機関

国土交通省中国地方整備局、岡山県、和気町、岡山市、津山市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、気象庁岡山地方気象台、海上保安庁第六管区海上保安本部、海上保安庁広島航空基地、玉野海上保安部、防衛省陸上自衛隊第13旅団、防衛省陸上自衛隊第13特科隊、防衛省陸上自衛隊第305施設隊、警察庁中国四国管区警察局岡山県情報通信部、岡山県警察本部、岡山県備前警察署、岡山県消防防災航空センター、東備消防組合消防本部、日本赤十字社岡山県支部、中国電力ネットワーク株式会社岡山ネットワークセンター、中国電力株式会社岡山支社、日本放送協会岡山放送局、株式会社岡山シティエフエム、I P U・環太平洋大学、一般社団法人中国建設弘済会（防災エキスパート）、一般社団法人岡山県建設業協会、一般社団法人日本自動車連盟岡山支部、災害応急対策協力会社、地元自治会、地元小学校、和気町消防団、岡山市消防団、津山市消防団、備前市消防団、瀬戸内市消防団、赤磐市消防団、美作市消防団、鏡野町消防団、勝央町消防団、奈義町消防団、西粟倉村消防団、久米南町消防団、美咲町消防団、国土地理院中国地方測量部、西日本高速道路株式会社中国支社岡山高速道路事務所、西日本電信電話株式会社岡山支店、一般財団法人河川情報センター、一般社団法人リバーテクノ研究会、一般財団法人建設コンサルタント協会中国支部防災委員会、公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会中国地区連絡協議会、D・BOX協会

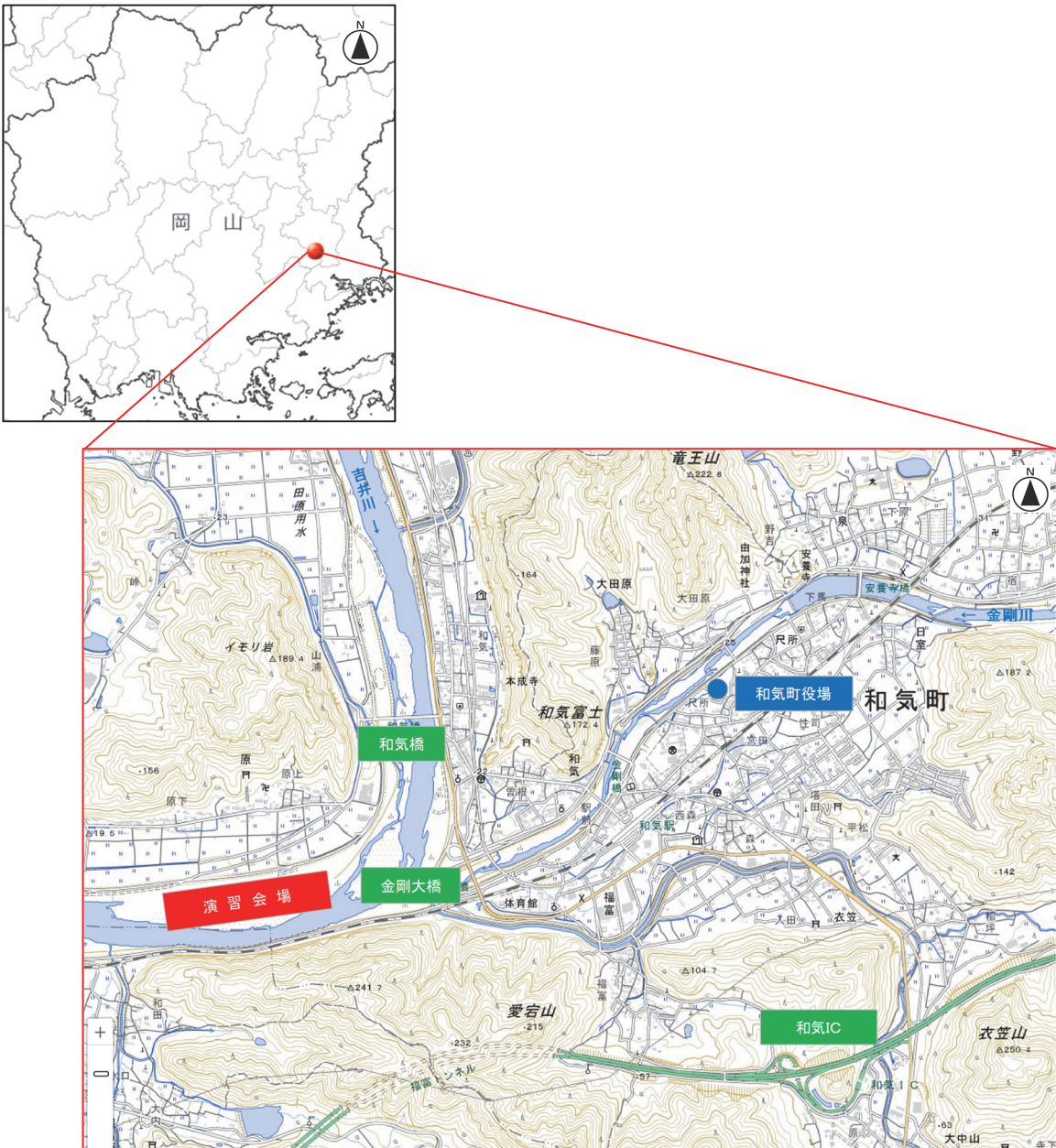
4. 協 賛

全国水防管理団体連合会、公益社団法人日本河川協会
一般財団法人河川情報センター、一般社団法人中国建設弘済会

5. 後 援

一般社団法人建設広報協会

6. 演習会場 岡山県和気郡和気町原地先（以下地図参照）



※この地図は地理院地図（電子国土WEB）を加工したものです。

< 申込先 >

中国地方整備局 岡山河川事務所 流域治水課 宛て
(F A X : 0 8 6 - 2 3 4 - 2 2 9 7)

< 申込〆切 >

令和5年5月25日(木)まで(必着)

取材申込書

- 取材については、事前に申込をお願いします。
- 申込は、取材申込書に必要事項を記載の上、申込先まで提出をお願いします。
送付状は不要ですので、本紙のみ F A X してください。

報道機関名	
取材者	
①(代表者)	車両NO.
②	
③	
連絡先(代表者の連絡先(携帯電話等))	
駐車券送付先	
住所:	
注意事項	
○演習当日は、会場受付にて必ず受付をお願いします。	
○会場に車でお越しの方は、「駐車券送付先」に記載いただいた住所へ駐車券を送付しますので、当日持参し、車のフロントガラスのよく見えるところへ掲示いただき、誘導員の指示に従って駐車してください。	
※駐車券がない場合は、駐車できませんのでご注意ください。	
○取材にあたっては、必ず自社腕章を着用してください。	
○当日、防災体制等によりやむをえず演習を中止する場合は、当日6時までに判断し連絡します。	

演習会場への進入ルートについて（報道関係の方向け）

水防演習は、スタッフや演習出演者、来賓など多くの車が入りし、交通が輻輳すると事故の原因となるため、駐車場に併せて進入ルートを限定しております。

報道関係の方は下流側から（熊山橋から堤防道路を上流側に向かって）お越しください。
駐車場からはスタッフが誘導します。

